



A.A.M.T

# 秋臨技 だより

第87号

第 87 号

発行所  
〒010-0013 秋田市南通築地 1-1  
ファーストワン築地 2A  
TEL・FAX:018(825)2116  
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp  
(出)秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 佐藤 寛  
編集主幹 佐藤 義暢  
印刷所 石岡印刷所  
電話 018(884)4771

## 震災復興支援 初めての無料健康チェック!

～ 地域保健活動のイノベーション その1 ～

地域保健活動担当 太田 和子

今回のイベントは、秋田県に避難している 1500 人余りの被災者の方に、秋臨技でも何か支援してあげられないかという佐藤会長の熱い想いが形になったものです。被災者センター(秋田県生涯学習センター)での交流会に参加下さる折に、無料健康チェックを希望の方に行おうという初めての試みでした。一般検尿、簡易ヘモグロビン計測、指先採血による血算・血糖・生化学検査、内臓脂肪測定の中からいくつか検査を受けていただき、健康相談へ導く流れとしました。

爽やかに晴れわたった 7 月 22 日(日)、朝 9 時に県内各地から参集してくれた運営委員は 26 名。他にメーカー 10 名、保健師 2 名の方々にご協力いただきました。初めての場所、初めての試みということで、不安だらけのスタートでありましたが、皆様のご協力のおかげで、なんとか無事に終了する事ができました。私の不備や不測の事態もありましたが、臨機応変にサポートしてくださった皆さんに感謝の気持ちで一杯でした。反省会の折、来て下さった 50 名ほどの被災者の方からお礼や喜びの声を多数いただいたと保健師さんから伝えられた時、皆から自然に拍手が沸き起こりました。やって良かったと素直に喜べる瞬間でした。交流会の責任者である県庁の方からもお礼の言葉をいただきました。学術的な事ばかりでなく、こういった地域に根差した公益活動に参加する事は、一人間にとっても何らかの糧になるのではないだろうかと感じた次第です。機会があったらあなたも参加してみませんか?



## 秋臨技の近況をご報告



(社) 秋田県臨床検査技師会  
会 長 佐 藤 寛

今年度も半分を過ぎ、早くも下半期に入りました。3月の予算総会で承認を受けた各種事業を会員皆様のご協力を頂き予定通りに進めております。

近況のご報告ということで、まず新公益法人移行についてお知らせ致します。秋田県理学療法士会や秋田県看護協会はすでに新公益法人へ移行しております。当会の進捗状況についてですが、来年4月の移行(認可)を目指して臨時総会開催を検討しております。その臨時総会では定款の変更を審議して頂く予定ですが、変更については会員の4分の3の賛成が必要となります。来年度から新公益法人を名乗れるよう移行の手続きを加速したいと思います。

終了した事業の中で特長のあった二つの事業についてご報告したいと思います。一つ目は7月22日(日)に秋田県生涯学習センターで開催された秋田県主催の「震災避難者交流会」に参加し、避難者の方々に対し「健康チェック」を行ったことです。昨年の東日本大震災から1年半を過ぎましたが、これまで秋田県技師会が行ってきた被災者への支援は募金や岩手県釜石市・大槌町での下肢静脈血栓症予防検診になります。まだまだ支援が足りないし、続けていかなければならないと思っておりましたが、現地へ赴いての活動は会員の負担が大きいため実現はなかなか難しいところがありました。そのような中で、秋田県や検査機器メーカーの皆様協力もあり、震災避難者交流会に参加した方々を対象として健康チェックを行うことが実現しました。泣く泣く故郷を離れ慣れない土地での生活ですので、当然健康面での不安もたくさんあると思います。そのような方々にとって私たち技師会が少しでも役に立てればと思っております。

二つ目は10月7日(日)にアルヴェで開かれた「ピンクリボンキャンペーン in AKITA 2012」にブース参加できたことです。これまで4回開催されているキャンペーンですが、ブースでの参加は初めてのことです。秋田大学で19時ころから行われた数回の「秋田県ピンクリボン実行委員会」への参加や当日の準備などは地域保健活動事業部が中心となって進め、その努力が実ったかたちです。このキャンペーンにはたくさんの市民の方々が来場しましたので、我々の仕事の紹介を兼ねて検査説明や相談を行いました。また来年も市民の方々に喜んでもらえるようにブースに工夫を凝らして参加していきたいと思っております。

下半期は最大のイベントである秋田県医学検査学会をはじめとして精度管理調査やエイズキャンペーン、部門別研修会が開催されますので、会員皆様の参加をお待ちしております。

## 平成24年度第1回通常総会開催される

平成 24 年 5 月 19 日 (土) 秋臨技平成 24 年度第 1 回通常総会がアキタパークホテルで開催されました。総会では、会務報告、事業報告、収支報告、監査報告が行われ採択された。また、総会終了後には 20 年と 30 年の永年職務精励者表彰が行われ、出席された 5 名の方に表彰状と記念品が授与されました。



■平成24年度第1回通常総会の様子

■永年職務精励者表彰を受けられた皆さん



「大震災と報道～地元紙・河北新報の一年」と題して河北新聞社報道部・震災取材班キャップの古関良行記者のご講演が有りました。

■総会終了後の公開講演会



## 中堅技師セミナーと ボウリング大会 開催される

去る 7 月 1 日 (日) 中堅技師セミナー (午前) とボウリング大会 (午後) が開催されました。

中堅技師セミナーの講師は高橋正雄先生。国立がんセンター臨床検査部技師長を退職後も技師学校講師や衛生検査所精度管理責任者等を歴任、80 歳を超えた現在もメディカルコラムニストとして臨床検査学術誌や業界新聞に連載寄稿を続けるかたわら、研修会の講師や健康講座の講師を勤めるなど精力的に活動を続ける我々の大先輩です。

セミナーでは、遺伝子治療や再生医療など最近の医学の進歩はめざましく、「これらの分野に臨床検査技師が積極的にかかわる気概を持つべき」「医療の現場でも、これまでコメディカルと称された職種が対等な立場でチーム医療の一員に迎えられる時代が訪れようとしているが、臨床検査はそれにどう答えていくのか」といった提言や問いかけが熱く語られました。



平成 24 年度の福利厚生事業として同日午後で開催されたボウリング大会は、秋田市のロックンボウルで開催され、会員・賛助会員合わせて 35 名の参加者がボウリングを楽しみました。

閉会式では、2 年連続団体優勝の県北チームのほか各個人賞が授与されなごやかな雰囲気の中終了しました。



## 少数検査室研修会

平成 24 年 8 月 19 日(日) 秋田大学医学部の講義室と実習室で開催された。

午前は、「より良い細菌検査を行うために」、「細菌検査の実際」について、講師は、秋臨技 感染制御部門長 小林則子 技師が講演をし、午後は、「グラム染色の基本と意義」について、市立横手病院 認定臨床微生物検査技師 佐々木絹子 技師が講演をし、その後、鏡検実習を行った。参加者は 39 名であった。

実習室は、非常に暑かったものの、参加者は、普段、あまり観察する機会のない標本観察を熱心に鏡検していた。

来年度以降は、会員交流にも力を入れていきたい。



### 事務局長代行の小山田さん

5 月 19 日の平成 24 年度第 1 回通常総会当日に開催された役員推薦委員会を経て推薦され、事務局長代行を努めて頂いている秋田大学医学部附属病院の小山田一理事です。

小山田さんは今年の 3 月末から産休に入っている高山事務局長に代っての事務局長代行になります。お忙しい中引き受けて頂いてありがとうございます。

## 開催にあたり

第36回秋田県医学検査学会 実行委員長 川 上 登

県北支部担当での県学会開催は、平成18年第31回・能代市以来となります。現在、実行委員会を8回程開催して準備を進めています。

本学会のテーマを「健康は人と人との繋がりから」としました。昨年、東日本大震災を経験して、健康の大切さ、人と人との繋がり大切さを改めて痛感させられた為です。尚、本学会では秋田市で例年開催されております「健康と臨床検査展」・高校生への「職業紹介」を同時開催で行います。

本学会の一般演題発表数はお陰様で29題と沢山のお申込みをいただきました。ランチョンセミナーはメーカー7社からご講演予定です。公開講演Iでは、1993年の世界陸上で金メダルを獲得した元オリンピック選手の浅利純子氏(鹿角市出身)から「私の競技人生を変えた恩師達」と題して、公開講演IIでは、アボットジャパン株式会社の吉田輝倫氏から「今日からあなたもコミュニケーション名人」と題してそれぞれご講演をいただきます。症例検討会については、2症例の進行を大館市立総合病院の池島 進先生に、司会を大館市立総合病院の高橋義博先生にお願いしており、症例から学ぶ検査データの読み方・考え方を専門医から勉強できる機会にしたいと思います。情報交換会では大館名物の「新米きりたんぼ」、ランチョンセミナーでは駅弁で有名な「花善の鶏めし予約弁当」をそれぞれご提供する予定です。グルメ派の方はこちらもお楽しみにして下さい。情報交換会終了後には若手臨床検査技師交流会、翌日には大館ちよつとだけ満喫ツアーなど盛り沢山の内容です。

最後になりましたが、学会が無事盛会に終了できます様、多数の学会参加を宜しく願い申し上げます。又、学会当日のスムーズな運営のため、できる限り事前参加登録をいただきますようお願い致します。

## 県学会と『健康と臨床検査展』のコラボレーション

～ 地域保健活動のイノベーション その2 ～

地域保健活動担当 太 田 和 子

例年、秋田市で開催されてきた『健康と臨床検査展』を県中央ばかりでなく地方で、この度の大館での県学会と同時開催したいという想いで今年度取組みました。2時間で終わられるよう30名にした枠は、事前応募の締切間近となり『市民が来てくれるだろうか』という不安も一掃されました。検査展での無料健診後に、公開講演への参加希望も予想外にあります。この機会に、会員の皆さまにも秋臨技の地域保健活動事業をもっと知って頂ければ嬉しい限りです。10数名の地元の運営委員が中心になり準備を進め、当日は総勢30名ほどのスタッフで頑張ります。学会でお会いしましょう。

### 編集後記



先日、テレビのニュースで京都にある海上保安庁の保安学校の入学式の様子が報道されていました。海保の志願倍率は18倍とのこと。仙崎大輔の力恐るべし。中学2年の我が息子も海猿になりたいと言っていますが、臨床検査技師になりたいとは一度も言った事が有りません。(佐藤義暢)